

朝日庄内 ふれあいの風

第 9 号

平成21年2月18日

発行

朝日庄内森林環境保全
ふれあいセンター

ふれあいセンター5年間の活動をふりかえって

日頃から当センターの業務にご理解ご協力を賜りありがとうございます。 所長 青山 一郎
新年の挨拶には時機を失してしまいましたが、今年もよろしくお願いいいたします。

さて、森林環境保全ふれあいセンターが設置された平成16年4月から、まもなく満5年となります。この間、当センターは「朝日庄内プロジェクト」に基づき、朝日山地森林生態系保護地域とその周辺（鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊、庄内海岸林、高館山自然休養林）において、保護と利用の調整を図るため、常設の管理委員会を核とし、地方自治体や地域住民、自然保護団体等の皆様のご協力を得て、地域住民参加型の森林生態系の保全と利用及び再生に取り組んでまいりました。また、森林や自然の働きを体感し、自然とのつきあい方を学ぶ体験活動型森林環境教育を推進する「朝日自然塾」にも、多くの方々のご協力により取り組んできました。今後もこれらの取り組みをより発展させていきたいと考えています。

一方、5年の年月を経て自然環境や社会情勢も変化しており、修正すべき点も出てきています。例えば、森林生態系保護地域内のモニタリングについては、管理計画に基づき、山菜の採取などの人為影響を評価するため、平成15年度から5年間調査を実施してきましたが、管理委員会の「より幅広く動態を把握すべき」などの提言を受け、今後の取組みを外部委託で検討しており、これに即して来年度以降の調査を実施することになります。

これらを踏まえ、また「朝日庄内プロジェクト」の導入後5年が経過したのを機に、来年度はプロジェクトのレビュー（検証・点検）を実施し、より効果的な保全・再生に取り組んで参ります。

これまで同様、地域と連携した森林の保全管理を目指し、職員一丸となって取り組んで参りますので、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

最近であったセンターのご近所さんたちです。



ノスリ



クマタカ



オジロワシ



ニホンザル

秋季巡視員会議を開催



朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議(秋季)が平成20年12月6日(土)に鶴岡市(旧朝日村)の「朝日山村開発センター(すまいる)」で開催され、巡視結果に対する意見交換等が行われました。

主な意見は「依然として壊れた看板が見られるので、早急に対処すべき。」「登山口までの車道を速度を上げて通行する車両があり、林道も傷むし、危険なので、何か対策ができないか。」「巡視員が活動をしているということを周知すべき。」等でした。また、「これまでの会議での発言に対して、その後どうなったのか示されていない。対応状況を示すべき。」との厳しいご意見もいただきました。

また、記事の作成や装備品の更新などについての事務局案に対する意見・要望がとりまとめられました。今回のご意見等をもとに対応していきたいと思います。



会議終了後は第2部として「自己責任とセルフレスキュー」をテーマに、飯豊朝日山岳遭難対策委員会救助隊長としてもご活躍の小国の自然を守る会の井上邦彦氏による講話が行われました。氏の貴重な体験談



講師の井上邦彦氏

や実践に参加者全員が聞き入っていました。

朝日自然塾連絡協議会を開催

朝日自然塾を企画運営する朝日自然塾連絡協議会が、平成20年12月12日(金)に西川町大井沢「セミナーハウス」で行われ、来年度の計画などが協議されました。

平成20年度の実施状況等の事務局説明に対し、「参加者をもっと増やす工夫が必要。」「学校には日程を年度末に知らせるべき。」「参加者募集は学校関係だけでなく、新聞や広報誌など幅広く呼びかけたほうが良い。」など参加者募集に関するご意見をいただいたほか、個々のプログラムについて論議がおこなわれました。

第3回プログラム(大鳥登山)は人員が多いことから、前回協議会で「オーバーユースについて理解を促す」とされていました。これを踏まえて、事前に学校に出向いて概要を説明したことを報告すると、「他のプログラムについてもリーフレットの内容について、事前に学習させることも有効ではないか。」などの意見もありました。

このほか、それぞれのプログラムについて内容や時期について検討を行い、21年度のプログラムの大枠を決定しました。

いただいたご意見を踏まえ、PR方法も関係学校へのお知らせに加えて、市町村広報等への掲載やマスメディアによる周知を検討するとともに、参集域の広域化を視野に、交通手段も含め、集合解散地の設定についても検討していきたいと思います。また、可能なプログラムについては事前学習を行うほか、他のプログラムについても、リーフレットの事前配布等を検討することとしています。



セミナーハウスで行われた朝日自然塾連絡協議会

松ぼっくりのツリーで「メリークリスマス」

12月15日、「松ぼっくり」を使った手作りクリスマスツリーの制作を行いました。保育園児の年長組38名が「ドイツウヒの松ぼっくり」を木に見立てて、モールやビーズで飾り付けました。

今回のクリスマスツリーの制作は、森の恵みを活用した木工細工により保育園児達の獨創性を高めようと計画したものです。

手際よく制作する子や時間を掛けて慎重に制作する子など、園児達の作り方には個性が良く表れていました。全員が一生涯懸命に頑張り、約1時間後にツリーが完成しました。各自の名前を円盤に貼り付けて教室内に展示しましたが、園児達はキラキラ光るクリスマスツリーの林に見とれていました。

ツリー制作後、園児達から当センターの職員に、感謝の手紙が送られました。これには、保育園児の似顔絵と一年間の森林環境教育の中で学んだ中から、楽しかったことに対するお礼の言葉が書かれていました。年間を通した森林環境教育で子供達の心も成長したことを感じるとともに、今後も実施プログラム等の充実を図るなど更に楽しめる森林環境教育の推進に向けて取り組む決意を新たにしました。



ツリーづくりに熱中！



園児達からのお礼の手紙

「みどりの保育園」の成果を発表



平成21年1月24日(土)に鶴岡市の東北公益文科大学鶴岡キャンパス大学院ホールで、県民参加の森づくり活動の成果発表会が開催されました。「森づくり活動発表会in庄内」と命名された発表会には山形県など運営関係者を含めると100名以上が参加し、今年度庄内地方で活動を実施した5団体が発表を行いました。

「自然環境学習の部」では、当センターと提携して事業を実施した酒田市の西荒瀬保育園が、森林環境教育プログラムの開発及びプログラムに添って実施した活動結果について発表を行いました。

発表を行った保育士の高橋先生の澄んだ声が会場に響くと、説明内容に相づちを打ちながら熱心に聴きいる参加者も多く見られ、指定の発表時間通りに無事終了すると、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

休憩時には、発表内容の素晴らしさに感銘したと感想を言いに来る参加者も現れるなど、今回の発表の中でも大勢の参加者から賞賛されました。発表後に行われた参加者による意見交換会では、保育士の先生達が事業を実施した感想を述べるなど発表会も大いに盛り上がり、来年度もさらに発展した活動を行うことを確認して無事終了しました。

当センターも、発表会に先駆けて園児達の前で予行演習会を開催するなど支援を行いました。今回の発表会の成功で、保育園の先生達も取り組んだ活動を外部に発信することの大切さを再認識したようでした。



発表する高橋先生

朝日山地森林生態系保護地域巡視員の 記章(ワッペン)デザイン公募のお知らせ

朝日山地森林生態系保護地域では、森林管理署等による巡視のほかボランティア巡視員による巡視が実施されています。こうした巡視活動を効果的に実施できるよう、巡視員であることが一目でわかる記章(ワッペン)を作成することとし、デザインを公募しています。ふるってご応募ください。

記

- 1 デザイン公募期間 平成21年3月2日まで
- 2 デザインの仕様書
 - (1) デザイン、大きさ、形、色は自由とする。
 - (2) 取り付け箇所は、帽子、胸、腕とする。
 - (3) 記載項目は、
「朝日山地森林生態系保護地域」
「巡視員」
「森林管理局」及び「朝日山地森林生態系保護地域管理委員会」
 - (4) 素材、取り付け方法についても提案する。
- 3 恩典 優秀作には表彰状、記念品を贈呈します。
- 4 応募方法
デザインを電子媒体によりご応募ください。
- 5 著作権の帰属
入選した作品の著作権は主催者に帰属します。
- 6 応募先(問い合わせ先)
朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター
自然再生指導官 山口昭雄

森林・林業技術交流発表会で発表

2月5～6日に秋田市で行われた森林・林業技術交流発表会において、当センターから「朝日山地森林生態系保護地域周辺におけるウエツキブナハムシの被害発生状況について」と題し、本年度の被害状況について、面積は約8千ha、標高は主に500～900mで平均は680m、菌が重要な天敵の可能性があることなどを発表しました。

東北ではマイナーなこの虫について多くの関係者に紹介することができたと思います。



オレンジ色が被害地域、
緑が生態系保護地域

朝日自然塾の参加者を募集中です かんじきトレッキングで親雪体験 囲炉裏でマタギの話を聞こう

とき 平成21年3月7日(土曜日)
ところ 西川町大井沢「セミナーハウス」周辺
締め切り 平成21年2月27日
参加費 大人1000円 子供500円
(昼食うどん・傷害保険・資料代を含みます)
募集人数 小中学生の親子先着25名程度
持ち物 長靴、防寒衣、手袋、着替え、帽子、タオル、
飲み物、必要な方はオニギリ等持参して下さい

8:30 セミナーハウス集合
9:00 かまくら作り
10:30 舎那山まで雪上かんじきトレッキング
樹木の冬芽観察、動物探索、雪ソリ体験
12:30 昼食(大井沢名物引摺うどん・イワナ塩焼き)
13:30 マタギの話し
14:30 閉会



編集後記

立春を迎えて暦どおりの穏やかな日々が続き、白神からは福寿草のたよりも。まさかこのまま春に・・・などと侮ったのも束の間、冬將軍が勢いよく舞い降り、這い出したカメムシは二度寝に戻りました。

とはいえ日照は確実に延び、春の気配が感じられます。山ではイヌワシの抱卵シーズン。静かな雪山で無事巣ごもりしてくれていることを祈っています。

発行

東北森林管理局
朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター

〒997-0404

山形県鶴岡市下名川字落合3

TEL: 0235-58-1730 FAX: 0235-58-1731

E-mail: t_syounai_f@rinya.maff.go.jp

Home Page: <http://www.fureai-kokuyurin.jp/>